

議第7号議案

垂直離着陸機オスプレイの米軍横田基地への配備に反対する意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

平成29年3月16日提出

| | | |
|-----|---------|------|
| 提出者 | 新座市議会議員 | 小野大輔 |
| 賛成者 | 〃 | 高邑朋矢 |
| | 〃 | 笠原進 |
| | 〃 | 工藤薫 |
| | 〃 | 芦野修 |
| | 〃 | 石島陽子 |
| | 〃 | 辻実樹 |

提案理由

垂直離着陸機オスプレイの米軍横田基地への配備に反対するため、この案を提出する。

垂直離着陸機オスプレイの米軍横田基地への配備に反対する意見書

昨年末、沖縄県の米海兵隊普天間基地配備の垂直離着陸機オスプレイ 1 機が同県名護市安部の沿岸に墜落、大破しました。このことは沖縄県民だけでなく、日本国民にも大きな不安と怒りを呼んでいるところです。

そもそもオスプレイは、両翼に大きなプロペラを持ち、給油ホースとの接触事故を起こす可能性は小さくありません。専門家からはプロペラが非常に壊れやすい構造になっていると指摘されています。構造的な欠陥機であるからこそ、世界各地で事故を繰り返しています。日本国民の多数が、このような危険なオスプレイは沖縄からも日本本土からも撤去することを強く求めています。

しかしながら、在日米軍司令部並びに防衛省は、このオスプレイを 2021 年までに計 10 機を東京の米軍横田基地に配備する計画であることを明らかにしています。国民の不安や怒りを逆なでするこのような配備計画は断じて容認することはできません。

周知のとおり、埼玉県は人口密集地域が多い上、その上空は航空機の過密路線空域となっています。しかも、県西部から県北部にかけて広範囲にわたり米軍の訓練飛行ルートが設定され、低空飛行訓練などによる事故の危険性が高まっています。その上、オスプレイが配備され、埼玉の上空を日常的に飛行することになれば、県民の命と安全がますます脅かされることは明らかです。

よって、国におかれましては、オスプレイの横田基地配備計画に反対し、米軍に撤回を求めるよう強く要望します。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出します。

2017年3月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様
外務大臣 様
防衛大臣 様